

12月に入り、いよいよ冬の到来です。暖かいこたつに入ったり、ストーブの効いた部屋でのんびり読書をするのには最適な季節ですね。冬休みが近づき、クリスマスやお正月もやってきます。今年は、クリスマスのプレゼントやお年玉に、新しい本を手に入れてみるのはいかがでしょうか。人生の豊かさは、どんな人に出会うか、そして、どんな本に出会うかで変わってくると思います。素敵な出会いがあるといいですね。

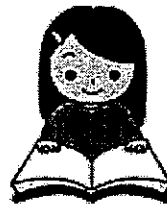


世の中の高校生は、どれくらい読書しているのかな？

全国学校図書館協議会（全国SLA）と毎日新聞社は合同で、全国の小・中・高等学校の児童生徒の読書状況について毎年調査を行っています。今年行われた「第61回学校読書調査」の結果を少し紹介しますね。

『5月の1ヶ月の間に本を何冊くらい読みましたか？』という質問では、

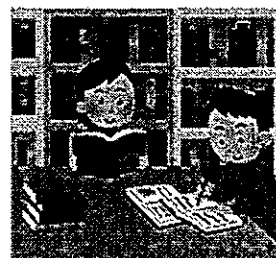
0冊・・・52%
1～3冊・・・38%
4～7冊・・・7%
10以上・・・3%



という結果が出ました。高校生のほぼ半分以上が、1ヶ月の間に1冊も本を読んでいないようです。この数字は、年々増えているようです。勉強やクラブ活動で忙しい、友達と過ごす時間を大切にしたい、などという理由はあると思います。でもやはり、スマホやタブレットの普及で、今の高校生達の生活におけるメディアの位置づけやコミュニケーションのあり方が大きくかわってきたことも、この読書人口の数の変化におおに関係しているように思えます。

『分からないことを調べるとき、何で調べますか？（いくつでも）』という質問では、

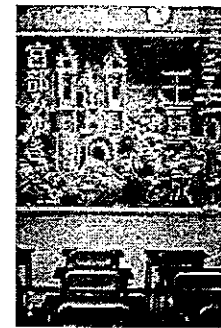
パソコンやスマホ、タブレット・・・94%
家族や友達、先生・・・50%
辞書や図鑑、百科事典・・・39%
教科書や資料集・・・38%
本・・・11%
新聞・・・1%
その他・・・1%



という結果が出ました。前述の通り、スマホなどの情報端末の普及に押されて、高校生の調べ学習などにおいても、従来の活字メディアに触れる機会が減ってきていることがうかがえます。以前なら、分からないことがあったら図書館へ足を運んで、適切な本を探して、読んで確かめる・・・ということが当たり前でしたが、今は、身近な情報端末であっという間に調べものができる世の中になっているんですね。でも、インターネット上の情報は、常に正しい情報であるとは限りません。調べた内容が正しいかどうかの確認をすることも大切だと思います。



3年D組 中宇地 恭平



近づく王城の土城

作者 宮部みゆき 出版元 KADOKAWA
あすじ
ポスト受馬食生の真か 銀行で暴つけた
土城のデザインを拾い持てかえりし牛の物語

感想
ベニ

始めは学園ものの物語だと思って読んでみた
が話の内容がSFだったのでおどろきましたか
話は、とてもおもしろかったです。

近く大人 江國香織

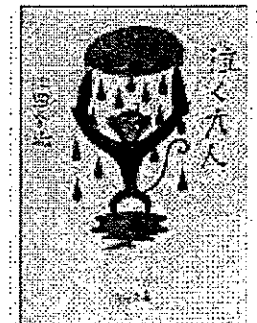
あすじ

1年B組 吉川 綺良

人というものは本質的に「近く」な生物だと思います。
夫、愛犬、男友達、旅、本にまつわる思い... 刻一刻と変
える... さまざまな日々の生活の積み重ねを、
簡潔な洗練を重ねた文章で綴る。
入りがほ、とできるような、上質のエッセイ集。

感想

江國さんの月をお借りして日常を見るようなお話でした。
甘やかされてるだけあてか、飼育の雨のお話が
読んで一番落着きました。
分類がわかりにくいと感じていました。
最後には見つけてみる戸が自分も欲しいと思いました。



11月の図書館利用状況

1年生	2年生	3年生	合計
95人	181人	164人	440人

第2期として、156冊の新刊がもうすぐはいってくる予定です。ぜひ図書館に足を運んでください。
そしてまた、本を選ぶ助けとして、毎月の図書委員による『今月のオススメ』もぜひ参考にしてみてくださいね。